

# 災害備蓄食 活用を推進

## 府社協とJEFFO賞書 子ども食堂などで



賞書に調印した京都府社協の余田常務理事(左)と機構の古谷代表理事  
—京都市中京区・府社協

京都府社会福祉協議会(府社協)と日本非  
常食推進機構(JEFFO)は、災害  
用備蓄食品の有効活用  
を進めるための覚書を  
交わした。JEFFOは  
賞味期限切れ間近の備  
蓄食品を府社協に譲渡  
し、府社協は府内の子  
ども食堂などで役立て  
てもらおう。  
JEFFOは、企業や  
自治体が保有する賞味  
期限切れ間近の備蓄食

品の有効活用を進めて  
いる。府社協は府の委  
託を受け、府内で子ど  
も食堂や子どもの居場  
所づくりを手掛ける団  
体に食材を提供する  
「きょうとフードセン  
ター」を今春から運営  
している。両者が協力  
することで、食品ロス  
削減と地域福祉向上を  
同時に図ろうと、覚書  
の締結を決めた。JE  
FFOは今後、缶詰やビ  
スケット、飲料水など  
を無償提供する。  
中京区の府社協で調  
印式があり、府社協の  
余田正典常務理事は  
「子ども食堂や児童養  
護施設からありがたい  
という声が届いてい  
る」、JEFFOの古谷  
賢治代表理事は「お互  
い協力して子どもたち  
のために食品を活用し  
たい」と話した。  
(吉永周平)